

## 第4回 草津市緑の基本計画策定委員会

日時：平成30年1月31日（水）10時～11時40分

場所：草津市役所4階 行政委員会室

### 1 開会

- ・ 委員数10名のうち9名の出席により、会議の成立を確認
- ・ 会議の傍聴者はなし
- ・ 副市長あいさつ

### 2 議事録確認

- ・ 異議なく承認された。

### 3 議事

- (1) 第2次草津市みどりの基本計画（改定版）の素案について  
——（事務局より資料2に基づき説明）——

#### ○A委員

1 ページの破線で囲まれた、『『ガーデンシティくさつ』について』の下から2行目の「市民の健康が自然と導かれ」が日本語として不自然である。「市民がより健康になり」などに変更してはどうか。

13ページの2段落目の「このように」以降について、文章を二つに分けるか、主語と述語の並び方を変えるとわかりやすくなる。

40ページの④事業者に関連して、ワールドカフェでの意見であるが、プロの造園業者などは専門知識をもって重要な役割を担っているので、計画実施で積極的に関わってもらえるとよい。

#### ○B委員

40ページの④事業者に「ボランティア活動の一環として」とあるが、この表現ではボランティアの押しつけのように読み取れる。「事業者として社会貢献活動の一環として」の方がよいのではないか。

35ページの「民間活力の導入」に、例えば市内のみどりの保全の状況をドローンで定期的に確認するなど、立命館大学との連携などによる技術活用も検討課題に入れてはどうか。

#### ○A委員

用語集に「C I」を「Corporate Identity」と記載しているが、これだと企業の話のように感じるので、「City Identity」にしてはどうか。

また、「マッチアップ」を一つの組み合わせ、対決のことと書いてあるが、この説明

でよいのか疑問に感じた。

○C委員

施策に「琵琶湖とともにある自然景観と生態系を守る」と記載されているので、琵琶湖再生法について触れる必要があるのではないかと。

○委員長

まず1ページ目の『『ガーデンシティくさつ』について』の「市民の健康が自然と導かれ」について、何か提案があれば発言をお願いしたい。

○A委員

「市民がより健康になり」の方が日本語としては自然である。

○委員長

そういう方向で直すということで、よろしいか。

○事務局

わかりやすくするという意味で、修正させていただく。

○委員長

13ページの「まちの健幸づくりにつながる『ガーデンシティくさつ』の実現」のカッコの下半分が、複雑な文章になっており、わかりやすくなるよう整理した方がよいのではないかとこの意見について、何か提案があれば発言をお願いしたい。

○A委員

「みどりが有する、健康増進や心の癒しへの寄与、創造性の喚起といった多様な効用に関しては科学的検証がなされている。緑住文化都市をこころざし『ガーデンシティくさつ』の実現を図ることは、このような科学的検証の成果を、積極的に都市づくりに活用していこうとするものであり、まちの健幸づくりにつながります」のように、科学的検証がなされていることを最初に述べる文章と、科学的検証の成果を活かすものであるということの短く述べる文章の二つに分けるとよいのではないかと。

○委員長

今の意見を踏まえた修正でよろしいか。

○事務局

最初に効用について記載し、その検証に基づいてという形に変えさせていただく。

○委員長

有名な森鷗外は医者として、健康増進を目標とした都市づくりの大切さを訴えてい

た。また、ドイツや台湾などではそういう都市をつくる動きがあり、スイスでは科学的検証を踏まえて健康都市づくりが行われている。科学的検証は今後のキーワードになるので、科学的検証、ガーデンシティづくりという文章に修正したいと思うが、よろしいか。

——（一同了承）——

○委員長

続いて、35 ページの「民間活力の導入」について、ドローンという言葉も出たが、何か提案あれば発言をお願いしたい。

○B 委員

人口減少・高齢化が進んでくるので、みどりを維持するのに技術が応用できるのであれば、市の緑化事業にそのような要素を入れられないかということである。

○D 委員

22 ページの「ガーデンシティについての普及啓発」の「ガーデニング全国大会等の招致」は、あまりにも目標が大きすぎるのではないか。全国大会や地区大会となると、海外ならばチェルシー・フラワー・ショー、国内ならば長崎のハウステンボスなどの話になり、草津市で掲げるには早すぎるのではないか。

○事務局

民間での大会は二つほどあるが、毎年いずれかの都道府県で全国大会が開催されており、草津市での開催を目指したいという思いがあり、このような目標を掲げている。

○委員長

35 ページの指摘について、様々な技術が進んできている中で、民間活力をさらに導入していこうという形で検討させていただく。

40 ページの④事業者について、「ボランティア活動の一環」というより「事業者として社会貢献活動の一環」の方が理解しやすいのではないか。事業者の範囲を広く捉えて、プロの造園業者も入れるかどうかは検討が必要だが、それらも重要な役割を今後果たすということで修正させていただく。

用語集の「C I」と「マッチアップ」について、説明をお願いしたい。

○事務局

「C I」は、ご指摘のように City Identity の方が適切だと考えている。

「マッチアップ」は、35 ページの2行目にある。用語集では「ひと組の組み合わせ、対決のこと」としているが、正しくは「ひと組の組み合わせ、結合」である。原本では直してあるが、送らせていただいたものには反映できていなかった。

○委員長

目次について、第6章の2「各組織主体の役割」が抜けている。

○事務局

琵琶湖再生法について、言葉としては記載していないが、琵琶湖再生法の計画に当てはまるものが一つだけあり、それが生態系の保全である。その意味で、37ページに国土交通省と国立環境研究所の資料から抜粋している。ここに琵琶湖再生法を盛り込むかどうかである。

○C委員

ここの文面を工夫して入れれば、わかりやすくなる。

○事務局

事務局からの提案だが、40ページの「各組織主体の役割」について、「町内会・自治会」という小さい単位の組織は挙がっているが、それらを総括している「まちづくり協議会」も入れる方向で検討させていただきたい。

○委員長

これをもって最終計画案とするが、よろしいか。

——（一同了承）——

(2) 答申について

——（事務局より答申案の説明）——

○B委員

「なお計画の推進にあっては」は、あまり使わない表現であるので、「推進にあつては」あるいは「推進においては」に修正してはどうか。

○委員長

「推進にあつては」よりも「推進においては」の方がよい。

○A委員

3番について、「総合的な環境づくり」をもう少し具体的に記載できるとよい。実際に活動している方が具体的な環境づくりをこれから一緒に考えていく、あるいは、交流まつりなどの交流の場をつくるという要素を入れ込むと、より力強い答申になるのではないか。

○B委員

2番にも共通する意見である。「仕組みづくりを推進する」の「仕組みづくり」は何

なのか。

実際に活動していると、例えば立命館の学生など、参加者になりうる方が多くいるが、そこまで広げるための仕組みや仕掛けができていない。直接、立命館の学生に「来てもらえないか」と提案するのは難しい。そこは行政が橋渡しの役割を担って、交流の場をつくってもらいたい。

#### ○C委員

1番と4番は重複しているので、順番を近づけた方がよい。

書き方について、1番の「伝え、共有し、協働して」では読みにくいので、例えば「多くの市民に伝えるとともに、情報を共有し」にすると読みやすくなる。4番も「連携を密にし」が先にくると読みにくいので、「施策の体系である『育てる・つくる・守る』の基本方針の下で、様々な行政機関・分野での連携を密にし、まちの健康づくりにつながる『ガーデンシティくさつ』の実現に努めること」の方が読みやすくなる。

#### ○A委員

「まちの健幸づくり」について、様々な年齢層の方や健康状態の方が参加されるということで、健康状態が悪い人には園芸療法的にみどりに触れ合ってもらうことで健康を増進するといったイメージをつくる方が、草津市の健幸都市づくりにふさわしいのではないかと。具体的には、「施策の体系である『育てる・つくる・守る』の基本方針の下で」の代わりに「幅広い市民の参加」を入れてはどうか。

#### ○委員長

1番と4番は、大きく言えば「施策の体系である『育てる・つくる・守る』」には重要な意味があるので、これを最初に述べた方がよいのではないかと。また、3番の「総合的な環境づくり」については、予算の裏づけがない状態で具体的に答申できるかは不明なので、「総合的」の意味を深く考えるということでもよろしいかと。

#### ○事務局

仕組みづくりや環境づくりについては、答申に対する配慮事項では記載が難しい部分もあるので、そのレベルでお願いしたい。

1番と4番は、もともと3つ程度しか記載していなかったが、これまでの意見を踏まえて、内容を足しているため、重複した部分もあろうかと思う。4番を健幸づくりの観点から書けば、1番との重複はなくなると考えている。文章を入れ替えるだけでなく、基本的な内容も変えて、「まちの健幸づくりは幅広い市民の参加の下」などに買えるのがよいと考えている。

#### ○E委員

「総合的な」についても、もう少し改善してもらいたい。

○委員長

それでは10分の休憩を取り、その間に事務局の方で文章を変えさせていただく。

——（答申案の調整）——

○委員長

修正案が届いたので、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局

まずは順番を変えて、4番目にあった「まちの健幸づくり」と「施策体系の『育てる・つくる・守る』」を1番に持ってきた。「行政機関等の連携」は「幅広い市民の参加を促す」ということで、ここは「まちの健幸づくりにつながる『ガーデンシティくさつ』の実現に努めること」という形にした。

2番目について、先ほど1番目にあった、様々な組織との協働ということを挙げ、「花と緑がいっぱいのガーデンシティの実現」という形にし、「多くの市民に伝えるとともに」という言い方に変えている。

3番目は、2番目に挙がっていた「仕組みづくり」である。もっと具体的にという意見もあったが、ここではそのままにさせていただいた。

4番目は、情報交換の場、交流の場、そのような環境づくりということで挙げさせていただき、内容は先ほどと変わっていない。

○委員長

各委員の意見がかなり反映されていると思う。これで確定したいと思うが、よろしいか。

——（一同了承）——

○委員長

この答申については、2月6日火曜日に委員を代表して、私と副委員長から市長へ答申する。

○副委員長

本策定委員会につきましては、委員の皆様の貴重なご意見により、今日をもって答申がまとまった。今後ともご協力を賜りますようお願い申しあげて、本日の挨拶とする。本日はどうもありがとうございました。

4. 閉会

（以上）